

令和6年度第7回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 令和6年12月16日(月) 16:30～18:30
場 所 WEB会議(Microsoft Teams) ゼブラ棟2階多目的室④
出席者 ■伊藤委員長 ■橋本委員 ■古賀委員 □竹下委員 ■大矢委員
□藤谷委員 ■飯塚委員 ■三宅委員 ■原委員 ■小中委員
■山根委員
(■が出席、□が欠席を表す。)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。

議題

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：看護系大学の元教授が看護教員となり定年退職を経てセカンドキャリアを歩み出すまでのライフヒストリー—複線経路・等至性モデル分析(TEM)を用いて—

伊藤委員長から、坂根講師より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

・4ページ、研究計画書の英題を「Life history of a former professor at nursing universities who became a nursing faculty member and embarked on a second career after retirement.: Utilizing the Trajectory Equifinality Model (TEM)」であるが、「Life history of a former university professor who became a nursing faculty member and embarked on a second career after retirement.: Utilizing the Trajectory Equifinality Model (TEM)」に変更するか検討すること。

・8ページ、研究計画書「2. 背景と研究計画の根拠」について、研究対象者を看護職に限ることを追記すること。

・9ページ、研究計画書「6. 研究の意義」について、現代社会において看護教員としてのキャリアを持つ人材をいかに活用するかが重要な課題となっていることから、人材活用に関する記載を追加するか検討すること。

・9ページ、研究計画書「7. 1 適格基準」や「7. 2 除外基準」につい

て、研究対象者となりうる方は多様なキャリアを歩まれていることが想定されるため、研究対象者の適格基準および除外基準をより具体的に明示すること。

- ・ 17 ページ，フェイスシートの質問事項について，分析のためにのみ用いることを明記すること。

- ・ 21 ページ，インタビュー調査へのご協力をお願いについてあいさつ文を追加するか検討すること。

- ・ 研究対象者が，インタビュー期間中に研究協力を辞退された場合のデータの取り扱いについて明記すること。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

(2) 課題名：行動解析 AI と視線解析による熟練看護師と新人看護師の急変兆候発見時対応の分析

伊藤委員長から、佐藤助教より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

- ・ 4 ページ，研究計画書の英題について「Analysis of Response of Skilled Nurses and New Nurses to Detection of Sudden Change Signs by Behavior Analysis AI and Eye Gaze Analysis」を「Analysis of Response between Skilled Nurses and New Nurses to the Detection of Sudden Change Signs using Behavior Analysis AI and Eye Gaze Analysis」に変更するか検討すること。

- ・ 8 ページ，研究計画書「2. 背景と研究計画の根拠」について，Disability の後に日本語訳を追加すること。

- ・ 19 ページ及び 44 ページについて，「共同研究者」を「研究分担者」に修正すること。

- ・ 19 ページ，研究計画書「14. 3 データ撮影・解析業務」を「研究支援者」に修正すること。

- ・ 31 ページから 46 ページの資料④および資料⑤について，研究対象者から収集するデータを具体的に説明すること。

- ・ 39 ページから 46 ページの資料⑤について，新人看護師の負担を軽減するために，急変兆候発見時の対応能力を評価するものではないことを追記すること。

- ・ その他，誤字に関する指摘があった。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

報告事項

○審査結果について

- 1) 申請者：申請者：臨床看護学講座 橋本 龍樹
課題名：残尿測定のための超音波検査法のプローブ角度の研究
審査結果：承認（令和6年11月14日付）
- 2) 実施状況報告書
申請者：臨床看護学講座 橋本 龍樹
課題名：残尿測定のための超音波検査法のプローブ角度の研究
審査結果：承認（令和6年12月6日付）
- 3) 再発防止策
申請者：臨床看護学講座 橋本 龍樹
課題名：残尿測定のための超音波検査法のプローブ角度の研究
審査結果：承認（令和6年12月6日付）

○実施状況報告書について

0件

○終了報告書について

令和6年11月提出：0件

○次回の委員会について

令和7年1月20日（月）16：30